

訃報 北尾 直敬評議員 ご逝去のお知らせ



北尾 直敬評議員（元教育訓練部長）が、10月3日（月）午前6時33分にご逝去されましたことを、謹んでご報告いたします。昨年11月、自宅の庭で庭木の剪定作業をしていて、脚立から転落し、頸椎損傷などで京都府宇治市の宇治徳洲会病院に入院、治療をしていました。死因は呼吸不全、享年73歳でした。北尾評議員のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

葬儀日程は下記の通りです。

- 通夜 平成17年10月4日（火）午後7時から
京都府京田辺市興戸（こうど）字町田4番地の自宅で
0774-62-0268
- 葬儀 平成17年10月5日（水）午後2時～午後3時
京都府京田辺市興戸（こうど）字町田4番地の自宅で
- 喪主 妻の洋子 様

北尾さんは昭和27年に同志社大航空部に入部。在学中に自家用免許を取得し、31年には戦後の学生では初めての高松 - 徳島間100キロの単独飛行機曳航に成功するなど数々の記録を打ち立てた。卒業後の昭和34年に日本学生航空連盟に入り、木曾川訓練所長、教育訓練部長などを歴任し、連盟教官として多くの教え子を育てた。54年には曳航1万回、59年には勤続25年で学連表彰を受けた。特に、東海・関西支部の訓練所となっている木曾川滑空場の開発では、国、自治体、地主らとの交渉を一手に引き受け、北尾さんの尽力なしでは実現できなかったといわれ、その功績は大きい。平成4年に定年退職した。その後も評議員を務め、学連の「ご意見番」として活躍した。

「学連のためになることなら、どんなことでもやってやる。ためにならんことは、なんとしてもさせん」がモットーで、空を愛し、学生を愛し、そして学連を愛した一生だった。